

世界平和度指数 2011

3年連続で世界の平和度が低下。「アラブの春」によりランキングに過去最大の変化が。

- リビアが 83 位もダウン。GPI 史上最大の急降下。
- 経済不況を脱したアイスランドがトップに。
- 世界で最も平和でない国は、昨年 of イラクから、今年 is ソマリアに。
- 2010 年に暴力がグローバル経済に与えた損失は、8.12 兆米ドル以上に。
- 米国の平和度にはほとんど変化なし。

英国ロンドン--(Marketwire – 2011 年 5 月 20 日) - 編集者向け注記: このプレスリリースには関連したビデオがあります。

このリリースのソーシャルメディア版は、次のリンクをご覧ください。

本日発表された世界平和度指数(GPI)によれば、2011年に世界の平和度を下げる上位2つの要因は、テロリストの攻撃の脅威と、暴力的な示威行為の可能性でした(1)。IEP (Institute for Economics and Peace)が作成している GPI で、世界平和度が低下したのは、今回で3年連続になります。グローバル経済に与えた経済損失は、過去1年間で8.12兆米ドルになりました。

GPIは、世界の平和度を測る指標として、世界で最もよく使われているものです。153の国について、各地で起きている国内紛争や国際紛争、社会の安全や治安、軍事化など、23の指標によって評価をしています。

2011年の指数では、「アラブの春」の影響が各国の順位に大きく反映されました。リビア(143位)はもっとも大きく順位を下げ、83位ランクダウンしました。バーレーン(123位)は51位下がり、ランクダウンの数では2番目となりました。エジプト(73位)は、24位下がりしました。経済不安定による混乱で、ギリシャ(65位)、イタリア(45位)、スペイン(28位)、ポルトガル(17位)、アイルランド(11位)もランクダウンしました。

「今年の指数の低下は、市民と政府との対立と深く関連しています。各国は、軍事力以外の新しい方法で、安定を図る必要があります。」と、IEP創設者で常勤会長の Steve Killelea は述べました。「10年間にわたる対テロ戦争にも関わらず、テロ行為の可能性は今年も、昨年にくらべてわずかに増大しています。」

平和度全体は下がったものの、今年 of データではいくつかの分野で平和度が上がったことも示されています。特に、軍事支出と近隣諸国との関係は、向上しています。

Killelea は次のように続けました。「真の意味で『平和の配当』を得るべきだという認識が高まっています。我々の調査により、平和で回復力に富み、社会持続性の高い社会を作り出すために必要な、8つの社会的態度と構造が洗い出されました(2)。」

アイスランドは昨年、国の金融システムの崩壊に関連した暴力的な示威行為の後、ランキングを下げましたが、8つの構造すべてで高いスコアを取り、今年の指数で1位に返り咲きました。日本は、今年地震と津波により外的なショックを受けたにも関わらずランキング順位を保ちましたが、これも統治構造全体で高いスコアを取っていることから説明できます。

他のハイライトと地域別の発見

昨年1年間に、世界平和度があと25%高かったら、グローバル経済は、2兆米ドル強の経済的利益を上げたでしょう。

この金額は、**Stern Review**によれば(3)、気候変動による最悪の結果を避け、ミレニアム開発目標を達成するコストをカバーし(4)、ギリシャ・ポルトガル・アイルランドの公的債務を解消し(5)、史上最悪の被害額の東日本大震災の復興費用を負担する(6)ために、年間グローバルGDPの2%にあたる投資ができる額です。

世界で最も平和な国はアイスランド、その次はニュージーランド・日本・デンマーク・チェコです。イラク(152位)は、世界平和度指数が始まって以来初めて、最下位を脱しました。

サハラ以南のアフリカは、依然として最も平和でない地域で、世界平和度指数で最下位のソマリア(153位)とスーダン(151位)など、世界でも特に平和でない国の40%がここに集中しています。

5年連続で、西ヨーロッパは最も平和な地域となり、トップ20にランク入りしている国の大部分は、ここにあります。スカンジナビア4か国はトップ10中に入りましたが、スウェーデンは、武器製造業界と通常兵器の大量輸出により、13位に落ちました。中部・東ヨーロッパでは、EU参加がよい影響となり、チェコ共和国は初めてトップ10入り(5位)し、スロベニアは10位ランクアップしました。

北米は昨年からわずかに向上しました。カナダ(8位)は今年のランキングで6位上昇し、米国(82位)の全般的なスコアは変わりませんでした。ランキングは85位から82位に上がりました。

編集者向け注記

GPIの結果、関連マップと図は、www.visionofhumanity.org からご覧いただけます。

Institute for Economics and Peace について

The Institute for Economics and Peace (IEP)は、ビジネス、平和および経済の相互関係の理解向上を確立することを専門にしている国際調査機関で、特に平和による経済的恩恵に関する調査に力を入れています。

IEPによる画期的な調査には、世界平和度指数があり、各国の平和度を測るために世界で最も多く活用されています。IEPではまた、2011年に発表された米国平和指標など、各国別の分析も作成しています。

IEPは独立した無党派の非営利団体で、シドニーとニューヨークに事務所があります。IEPは、アスペン研究所、Economist Intelligence Unit、コロンビア大学地球研究所、Club de Madrid、モナシユ大学、戦略国際問題研究所(CSIS)などの世界的に活躍している団体と提携しています。また、世界銀行、OECDおよび国連などの多国籍団体との協業も行っています。

詳しい情報は www.EconomicsandPeace.org をご覧ください。

(1) 29か国(特にアフリカ、中東、ヨーロッパ)で、テロの脅威レベルが上昇したため、今年の世界平和度指数では、最も悪影響を与えた要因となりました。33か国で、暴力的示威行為の可能性が増大しています。

(2) 8つの構造とは、円滑に機能している政府、健全なビジネス環境、公正な資源の分配、他者の権利の受容、近隣諸国との良好な関係、自由な情報の流れ、高い教育水準、腐敗度の低さなどです。

(3) グローバル GDP の 2 とは、11.24 億米ドルです。出典 "Stern Review: The Economics of Climate Change, World Bank executive summary" URL: <http://siteresources.worldbank.org/INTINDONESIA/Resources/226271-1170911056314/3428109-1174614780539/SternReviewEng.pdf>

(4) MDG コストは 600 億米ドルです。出典 "World Bank (2002) The Costs of Attaining the Millennium Development Goals" <http://www.worldbank.org/html/extdr/mdgassessment.pdf>

(5) ギリシャ・ポルトガル・アイルランドの公的債務は 7000 億米ドルです。出典 "Eurostat, euroindicators" (2011 年 4 月 26 日) URL: http://epp.eurostat.ec.europa.eu/cache/ITY_PUBLIC/2-26042011-AP/EN/2-26042011-AP-EN.PDF

(6) 復興費用は 2350 億米ドルです。出典: 世界銀行の 2011 年 3 月 21 日の発表 URL: http://siteresources.worldbank.org/INTEAPHALFYEARLYUPDATE/Resources/550192-1300567391916/EAP_Update_March2011_japan.pdf

プレスリリースに関連する動画は、下記のリンクをご覧ください。

<http://www.youtube.com/watch?v=zZTpBDoDO0Y>

2011 GPI Discussion Paper は、
<http://media3.marketwire.com/docs/2011GPIDiscussionPaper.pdf> をご覧ください。

2011 Fact Sheet は、<http://media3.marketwire.com/docs/2011FactSheet.pdf> をご覧ください。

2011 GPI Colour Map は、<http://media3.marketwire.com/docs/2011GPIColourMap.pdf> をご覧ください。

2011 GPI Endorsers は、<http://media3.marketwire.com/docs/2011GPIEndorsers.pdf> をご覧ください。

2011 GPI Results Report は、<http://media3.marketwire.com/docs/2011GPIResultsReport2.pdf> をご覧ください。

リリースのスペイン語版は、下記をご覧ください。
<http://media3.marketwire.com/docs/GPISpanish.pdf>

リリースのポルトガル語版は、下記をご覧ください。
<http://media3.marketwire.com/docs/GPIPortuguese.pdf>

リリースのフランス語版は、下記をご覧ください。
<http://media3.marketwire.com/docs/GPIFrench.pdf>

リリースのドイツ語版は、下記をご覧ください。
<http://media3.marketwire.com/docs/GPIGerman.pdf>

リリースの中国語繁体字版は、下記をご覧ください。
<http://media3.marketwire.com/docs/GPITraditionalChinese.pdf>

リリースの中国語簡体字版は、下記をご覧ください。
<http://media3.marketwire.com/docs/GPISimplifiedChinese.pdf>

リリースの韓国語版は、下記をご覧ください。
<http://media3.marketwire.com/docs/GPIKorean.pdf>

リリースの日本語版は、下記をご覧ください。
<http://media3.marketwire.com/docs/GPIJapanese.pdf>

リリースのアラビア語版は、下記をご覧ください。
<http://media3.marketwire.com/docs/GPIArabic.pdf>

お問い合わせ先:
グローバル窓口: Hill & Knowlton (GPI 担当)

gpi2011@hillandknowlton.com

Sara Jurkowsky
+44 207 973 5970
sjurkowsky@hillandknowlton.com

Rima Sacre
+44 207 973 4427
rsacre@hillandknowlton.com

米国: Edelman (GPI 担当)
Craig Brownstein
+1 202 326-1799
craig.brownstein@edelman.com